

事務事業実績測定調書

R4調書番号 626

事務事業名称	塵芥収集業務(家庭ごみ業務第1課)										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	家庭ごみ業務第1課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民サービスを低下することなく、効果的・効率的な収集体制を確立すること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害発生時や緊急時等において、市民生活への影響を最小限に抑え、市民サービスの低下がなく迅速に対応できるようセーフティネットを踏まえた効率的な収集体制を確立する。 高齢や要介護等を理由に屋内のごみを出すことが困難な世帯に対しごみ出し支援をおこない、市民サービスの拡充を図る。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「資源ごみ(ペットボトル・プラスチック製容器包装)」は市域を5ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに週1回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) 「資源ごみ(空き缶、びん・ガラス類)」は市域を10ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに月2回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) 「紙類(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ)」は市域を10ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに月2回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) 「臨時ごみ」は電話申し込みにより収集する。申し込み回数や収集回数の制限を設けない。(戸別収集方式) 「資源ごみ(使用済小型家電)」は市内の公共場所や協力店舗に専用の回収ボックスを設置し、週1回収集する。(拠点回収方式) 「資源ごみ(水銀使用廃製品)」は市内の公共場所や協力店舗に専用の回収ボックスを設置し、週1回収集する。(拠点回収方式) 「ふれあいサポート収集」は、一人暮らしでホームヘルプサービスを利用し、かつ要介護1以上または障害等の要件に該当する世帯に対し、日常のごみ(一般ごみ・資源ごみなど)を市職員が玄関先まで収集に行く。(当該サービス利用者に限り、屋内の大型ごみの持出し収集をする。) 「大型ごみ持出しサポート収集」は、ふれあいサポート収集を補完する事業として、世帯構成(同居)するすべての者が、要介護1以上等の要件に該当する世帯に対し、平成28年4月から「大型ごみ持出しサポート収集」を開始。(特別交付税措置あり) 令和3年度から「大型ごみ持出しサポート収集」の対象要件を緩和して、「要支援1以上及び75歳以上」の要件についても対象とする。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	家庭系一般廃棄物(ふん尿を除く)を迅速かつ適正に収集する。				インプット (活動)	各種ごみ効率よく収集できるよう、収集方式を定める。					
	指標説明					収集を行う日数					収集方式数						
指標設定	指標種類					単位	日					単位	方式				
	指標数値					R2	R3	R4	R5					R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					258	258	258	258					3	3	3	3
	実績					258	258	258						3	3	3	
達成度					100%								100%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②						大型ごみ持出しサポート収集の利用者数が増加することで、高齢者や要介護者等が自立的な日常生活を維持できる。				大型ごみ持出しサポート収集の利用希望者が増加する。			
指標設定②	指標説明					大型ごみ持出しサポート収集の実施件数				大型ごみ持出しサポート収集の相談件数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					40 200 250 300				40 400 400 400			
	実績					18 157 286				57 38 57			
達成度						114%				14%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						大型ごみ持出しサポート収集の利用希望者が増加する。				大型ごみ持出しサポート収集の対象要件の緩和を行う。			
指標設定③	指標説明					大型ごみ持出しサポート収集の相談件数				対象要件緩和の周知			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					40 400 400 400				3 3 3 3			
	実績					57 38 57				4 1 1			
達成度						14%				33%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	45.50
再任用	3.32
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	4.75
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	419,026	372,162		
	会計年度任用職員	-	15,991	15,173		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	435,017	387,335		
	物件費計	-	407	205	315	65.1%
歳出計		-	435,424	387,540		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	-	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		-	407	205	315	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 家庭系一般廃棄物収集全般に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの、2人乗務やペア収集の運行体制を確立したことで、サービス水準を低下させることなく運用することができた。 大型ごみ持出しサポート収集については、要件緩和により利用件数が大幅に増加したが、市民の認知度に関してはスマホアンケートの結果からも高いものと言えず、広く周知していく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 収集体制が縮小される中、効率的・効果的なごみ収集業務体制構築に加えて、スピード感のある実効的な収集体制を構築を目指す。 市民サービスの拡充については、校区コミュニティ等に協力を仰ぐとともに「大型ごみ持出しサポート収集」事業の周知・拡大に努める。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 671

事務事業名称	不法投棄防止対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	家庭ごみ業務第1課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち									
	実行計画名	28-1.美しい景観形成の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	不法投棄行為者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	不法投棄件数は減少傾向にあるものの未だ数多くの不法投棄が行われているため、継続した指導等が必要がである。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	廃棄物の適正処理の徹底が図られるとともに、廃棄物の回収などまち美化に向けた取り組みを推進することで、不法投棄された廃棄物による生活環境の保全上の支障がない、きれいなまちが実現している。				
事業概要	廃棄物の不法投棄の防止を図るため、市民や自治会等からの要望に基づき啓発看板の配布を行う。また、市民等からの通報やパトロール等で確認された廃棄物については、土地の所有者や管理者等と連携して、廃棄物の回収に向けた対応を行う。行為者が確認された場合は、必要に応じて警察と連携して、指導など必要な対応を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	廃棄物の適正処理の徹底が図られるとともに、廃棄物の回収などまち美化に向けた取り組みを推進することで、不法投棄された廃棄物による生活環境の保全上の支障がない、きれいなまちが実現している。				アウトプット (活動結果)	不法投棄の状況の確認、回収に向けた対応及び指導等を実施する。				インプット (活動)	市民や自治会等から不法投棄の通報や連絡等を受ける。			
	指標説明	不法投棄件数				不法投棄対応件数				不法投棄通報件数					
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	達成度	0	0	0	0	100	150	150	150	40	150	150	150		
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	廃棄物の適正処理の徹底が図られるとともに、廃棄物の回収などまち美化に向けた取り組みを推進することで、不法投棄された廃棄物による生活環境の保全上の支障がない、きれいなまちが実現している。				アウトプット (活動結果)	62%				インプット (活動)	138%			
	指標説明	不法投棄件数				要望に基づき、啓発看板を配布することで、啓発看板が実際に不法投棄された場所付近で掲出され、再発防止や未然防止を図られる。				市民や自治会等から啓発看板の配布の要望を受ける。					
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	達成度	0	0	0	0	100	40	40	40	100	36	36	36		
指標設定②	指標説明	不法投棄件数				要望者による啓発看板の設置地点数				啓発看板の配布の要望件数					
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	達成度	0	0	0	0	100	113	88		104	38	39			
	達成度	0%				220%				92%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.85
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,440	1,179	14,452		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,440	1,179	14,452		
	物件費計	149	157	164	169	97.0%
	歳出計	1,589	1,336	14,616		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	149	157	164	169		

5. 総括的分析

総括的分析	不法投棄の防止の啓発看板の配布を行い不法投棄の未然防止を図った。また、市民等から回収を依頼された廃棄物については、土地の管理者等と連携し、廃棄物の回収に係る対応を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、不法投棄の防止を図るため、啓発看板の配布を行う。また、市民等から回収を依頼された廃棄物について、関係機関等と連携し適正な対応を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 942

事務事業名称	家庭ごみ業務第1課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	家庭ごみ業務第1課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	事務を行うごみ家庭ごみ業務第1課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題				
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)					
事業概要	・事務の効率的な業務運営が行えるよう執行体制の維持を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	7,857	15,624		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	7,857	15,624		
	物件費計	-	0	0	0	
	歳出計	-	7,857	15,624		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	・家庭系一般廃棄物収集全般として、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響があったものの、2人乗務の運営などにより、サービス水準を低下することなく運用することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・収集体制が縮小される中、効率的・効果的なごみ収集業務体制構築に加えて、スピード感のある実効的な収集体制を構築を目指す。